

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 1

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例:「青緑<あおみどり>」「緑青<ろくしょう>※銅の表面に生じる緑色のさび。)」あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A ○□向上をめざして、このワークブックを毎日一枚やっている。		
	B 大学では航空□○を専門に学びたいと思っている。		
2	A ○□の範囲内なら、防寒具を着用してもいいですか。		
	B 三角□○を忘れたので、最後の問題ができなかった。		
3	A この建物のおかげで○□をしのぐことができた。		
	B 暴□○により、休校になってしまった。		
4	A 北海道の○□を開拓(かいたく)する。		
	B みんなで、近所の□○で、日が暮れるまで野球をしたものだ。		
5	A あの人はけんか早くて○□な人だ。		
	B □○は損だ。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

〔「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編〕
字順が逆の言葉 1

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意味	熟語	読み方
1	A		学 力	がくりよく
	B		力 学	りきがく
2	A		規 定	きてい
	B		定 規	じょうぎ
3	A		雨 風	あめかぜ
	B		風 雨	ふうう
4	A		原 野	げんや
	B		野 原	のはら
5	A		気 短	きみじか
	B		短 気	たんき

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなくて、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 2

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例:「年来<ねんらい>」「来年<らいねん>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A ○□で栽培された花でブーケを作った。		
	B この部屋は□○が常に同じように設定されている。		
2	A ○□の制限に収まるよう、推敲する。		
	B □○の「2」はアヒルに似ている、と覚えた。		
3	A シロは○□連れ添ってきた、わが家の愛犬だ。		
	B このマラソン大会の最□○参加者は72歳です。		
4	A 店で取り扱っている○□は五十音順に記録しておく。		
	B 祖父は茶器の□○を鑑賞するのが趣味だ。		
5	A 車を扱う○□に就職するのが夢だ。		
	B 地域□○でも貢献できるようになりたい。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 2

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意味	熟語	読み方
1	A		温室	おんしつ
	B		室温	しつおん
2	A		字数	じすう
	B		数字	すうじ
3	A		長年	ながねん
	B		年長	ねんちょう
4	A		品名	ひんめい
	B		名品	めいひん
5	A		会社	かいしゃ
	B		社会	しゃかい

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなく、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 3

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例:「作製<さくせい>」「製作<せいさく>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A 体育大会のために入場○□の練習をする。		
	B 会議がスムーズに□○するように協力する。		
2	A 難しい読みを調べる時は、漢和辞典が○□である。		
	B 研究者たちは携帯電話の□○性の向上に取り組んでいる。		
3	A 理想と○□の違いを思い知らされる。		
	B オーロラを見るという夢を□○する時がきた。		
4	A アインシュタインが唱えたのが「相対性○□」だ。		
	B 議論の場では、□○的な説明が必要とされる。		
5	A 今日は職員○□が行われるので、先生は来られない。		
	B この条例は先月の府□○で決まったものだ。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 3

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意味	熟語	読み方
1	A		行 進	こうしん
	B		進 行	しんこう
2	A		便 利	べんり
	B		利 便	りべん
3	A		現 実	げんじつ
	B		実 現	じつげん
4	A		理 論	りろん
	B		論 理	ろんり
5	A		会 議	かいぎ
	B		議 会	ぎかい

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなく、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 4

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例:「応対<おうたい>」「対応<たいおう>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A テレビで政治○□家が討論している。		
	B 新聞に一連の出来事に対する□○が掲載されている。		
2	A 祖父は昔から物事の○□を通さないと気がすまない。		
	B パン屋さんは駅に行く□○にありますよ。		
3	A みんなに行き渡るよう、○□には気をつけます。		
	B 数学の先生に□○法則を教わる。		
4	A フィギュアスケートで、四○□ジャンプを成功させた。		
	B マットのテストで連続□○に挑戦する予定だ。		
5	A 平和のため、市民の力を○□させる。		
	B 一夜限りのライブに向け、かつての仲間が□○した。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
 字順が逆の言葉 4

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
 辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意味	熟語	読み方
1	A		評論	ひょうろん
	B		論評	ろんびょう
2	A		筋道	すじみち
	B		道筋	みちすじ
3	A		配分	はいぶん
	B		分配	ぶんぱい
4	A		回転	かいてん
	B		転回	てんかい
5	A		結集	けっしゅう
	B		集結	しゅうけつ

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなく、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 5

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例：「急性<きゅうせい>」「性急<せいきゅう>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A オリンピック選手団の○□式。		
	B 一致□○したおかげで、体育大会で優勝することができた。		
2	A 徳川吉宗は○□儉約に関する法令を出した。		
	B □○があっても努力しなければ意味がない。		
3	A この出来事の一部○□を先生に説明する。		
	B 楽しい行事だったので、みんな、□○、笑顔だった。		
4	A ○□成語には「矛盾」や「推敲」などがある。		
	B パトカーが□○現場に向かって走っていった。		
5	A Tシャツの○□を逆にしたまま出かけていた。		
	B 長所と短所は□○一体である。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 5

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意味	熟語	読み方
1	A		結 団	けつだん
	B		団 結	だんけつ
2	A		質 素	しっそ
	B		素 質	そしつ
3	A		始 終	しじゅう
	B		終 始	しゅうし
4	A		故 事	こじ
	B		事 故	じこ
5	A		裏 表	うらおもて
	B		表 裏	ひょうり

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなく、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 6

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例:「季節<きせつ>」「節季<せつき>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A ○□線に太陽が沈んでいくように見えた。		
	B □○では雨だが、山の中腹では雪になった。		
2	A 電車は○□の上を走る。		
	B □○バスに乗って、練習試合に向かう。		
3	A ○□時間の一番短い乗り換えを選ぼう。		
	B □○□○をきちんと理解していたので、うまく対応できた。		
4	A 暗号を○□する。		
	B 説明文の□○の勉強をしている。		
5	A メッセージを効果的に伝えるために○□を考えた。		
	B お気に入りの俳優さんが□○するドラマはすべて録画している。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 6

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意 味	熟 語	読み方
1	A		地 平	ちへい
	B		平 地	へいち
2	A		線 路	せんろ
	B		路 線	ろせん
3	A		所 要	しょうよう
	B		要 所	ようしょ
4	A		解 読	かいどく
	B		読 解	どっかい
5	A		演 出	えんしゅつ
	B		出 演	しゅつえん

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなくて、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 7

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例：「事物<じぶつ>」「物事<ものごと>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A この映画の○□は、オオカミと人間の交流だ。		
	B 通知票の□○欄に書かれた言葉を読む。		
2	A ありとあらゆる○□に興味を持つ。		
	B 具体的な□○を例にあげて考える。		
3	A ○□ないこの部屋に、花を飾ってみよう。		
	B かぜ□○なので、きちんと食べて、早く寝る。		
4	A 年下のいとこの遊び○□をするのも楽しい。		
	B 星、血液型、□○、など占いにはいろいろな種類がある。		
5	A 台風が来て、○□の風が吹く。		
	B 自分の活躍できる□○を見つける。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 7

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意味	熟語	読み方
1	A		見 所	みどころ
	B		所 見	しょけん
2	A		物 事	ものごと
	B		事 物	じぶつ
3	A		味 気	あじけ
	B		気 味	きみ
4	A		相 手	あいて
	B		手 相	てそう
5	A		野 分	のわき/のわけ
	B		分 野	ぶんや

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなく、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 8

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例：「置物<おきもの>」「物置<ものおき>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A ○□を感動させる演技がしたい。		
	B □○的に見ることで、自分の長所が浮かんできた。		
2	A ○□をきかせて、ピンチを救った。		
	B この本を読んだことが人生の□○になった。		
3	A 色彩の美しさに○□のあるカメラを買うことにした。		
	B 一学期の成績を□○する。		
4	A ○□使いで見る時の心の様子を想像してみよう。		
	B □○の方と話す時の言葉づかいにもっと注意すべきだ。		
5	A ○□を合わせたつもりでも、すぐに見抜かれる。		
	B 時間帯によっては、□○は閉まっています。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 8

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意 味	熟 語	読み方
1	A		観 客	かんきやく
	B		客 観	きゃっかん
2	A		機 転	きてん
	B		転 機	てんき
3	A		定 評	ていひょう
	B		評 定	ひょうてい
4	A		上 目	うわめ
	B		目 上	めうえ
5	A		口 裏	くちうら
	B		裏 口	うらぐち

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなく、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 9

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例：「階段<かいだん>」「段階<だんかい>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A 今年の○□大会には浴衣を着て行く予定だ。		
	B 球技大会での優勝に向け、各クラスが□○を散らす。		
2	A 私の朝はコップ一杯の○□から始まる。		
	B ホルスタインは□○の代表的な種です。		
3	A お墓の前で、ご○□様に手を合わせる。		
	B ゾウの□○は鼻が短かったらしい。		
4	A ○□の状態でごトコト煮込んだおでんが食べたい。		
	B トラブルの□○を抱えているので、ハラハラしている。		
5	A その事実について、いまだに○□を保留している。		
	B 無実だから、起訴事実を□○する。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 9

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意味	熟語	読み方
1	A		花 火	はなび
	B		火 花	ひばな
2	A		牛 乳	ぎゅうにゅう
	B		乳 牛	にゅうぎゅう
3	A		先 祖	せんぞ
	B		祖 先	そせん
4	A		種 火	たねび
	B		火 種	ひだね
5	A		認 否	にんぴ
	B		否 認	ひにん

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなくて、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
字順が逆の言葉 10

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文ABの○、□にはそれぞれ同じ漢字が入り、「○□」、「□○」がそれぞれ熟語になります。(例:「材木<ざいもく>」「木材<もくざい>」。)あてはまる正しい漢字を書き、熟語を完成させましょう。また、その熟語の読み方を書きましょう。

番号	文	熟語	読み方
1	A ○□業がさかんな工業地帯。		
	B □○の意志を持って最後までやりとげる。		
2	A ○□な性格もプラスにとらえると慎重だということだ。		
	B 相手チームの練習風景を見て□○になってしまった。		
3	A 松尾芭蕉○□の地を訪れる。		
	B 友人の□○会に招待された。		
4	A 山の頂で食べるお弁当は、○□に美味しい。		
	B 横綱の強さは□○だ。		
5	A 自分の○□を試すために、自転車で日本一周に挑戦する。		
	B 先生の話聞き、□○を入れかえる。		

【この問題を解くために】

字順が逆の熟語になる漢字の組み合わせはたくさんあります。
言葉の使われ方や意味、読み方を考えて答えましょう。

[「小学校で学習した漢字」シリーズ 2ndステップ 活用編]
 字順が逆の言葉 10

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】
 辞書を使って意味を調べましょう。

番号		意味	熟語	読み方
1	A		鉄 鋼	てっこう
	B		鋼 鉄	こうてつ
2	A		気 弱	きよわ
	B		弱 気	よわき
3	A		生 誕	せいたん
	B		誕 生	たんじょう
4	A		格 別	かくべつ
	B		別 格	べっかく
5	A		根 性	こんじょう
	B		性 根	しょうこん

学習するみなさんへ

字順が逆の熟語の組み合わせはたくさんあります。一つずつの漢字をただ覚えるのではなくて、どのような熟語をつくるか、文の中での使われ方や意味を考えて理解を深めるようにしましょう。